

はじめに

i-ファイルの“i”には

「individual（個別の、個人の）」や

「identity（個性、主体性）」、

「愛」という意味がこめられています。

i-ファイルは、「子ども自身」のためのものです。

個別記録票“i-ファイル”は、発達に遅れやかたよりがあり、個別的な支援を必要とする子どもや保護者が、乳幼児期から成人期まで継続的な支援が受けられることを目的に作成されました。

i-ファイルには、子どもに関する様々な情報と、大切な歴史がつつられていきます。

子どもたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容などを書き込んだり、はさんだりできるようになっています。

i-ファイルは、子どもの成長を応援する全ての人々の理解と協力により、一貫した支援に活かされるためのものです。

調布市では、子どもの成長を応援する、全ての人々の共通理解のもとで、一貫した支援ができるよう、i-ファイルを配付しています。

問合せ先 調布市子ども発達センター
調布市西町290-49
電話 042-486-1190



“i-ファイル”利用のてびき

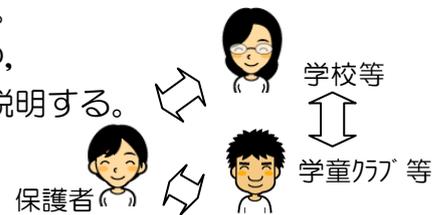
i-ファイルは、お子さんの生まれた時の情報や、支援の経過を1つのファイルにまとめ、乳幼児期から成人期まで継続的に一貫した、よりよい支援を受けられるようにするためのものです。

☆対象

調布市内に在住で、発達に遅れやかたより等があり、個別的な支援を必要とするお子さん。

☆利用方法

- ① 保護者が成育歴や受診歴等を各シートに記入する。
- ② 保護者とスタッフで、他機関に伝えたいことや配慮してほしいことを確認し、スタッフが「支援のまとめ」「就学支援シート」等を作成。
保護者は受け取った資料をi-ファイルに綴じる。
- ③ 保護者は「支援のまとめ」「就学支援シート」等や、各シートを見ながらお子さんについて利用機関に説明する。



☆利用するメリット



本人

支援の積み重ねが可能で、同時期にヨコの連携が図られ、共通理解を得られることによって、より安心して過ごすことができます。

何度も同様の説明をする負担が軽減されます。

継続した支援が期待できます。



保護者

他機関から正確な情報を得ることができ、機関同士のよりよい連携が図られます。



学校



学童クラブ

配慮が必要なこと等を事前に知ることにより、有効な対応が可能となり、お子さんの健やかな成長の支援が図られます。

☆保護者のみなさまへ

- ・ i-ファイルは保護者が管理・保管します。情報に変更があった場合は、訂正・加筆してください。機関から受け取ったお子さんについての情報をi-ファイルに綴じて保管してください。
- ・ 各シートは調布市のホームページからダウンロードできます。

☆関係機関のみなさまへ

- ・ 機関のスタッフは、最新情報か確認し、必要に応じて加筆・訂正し、情報を更新してください。
- ・ コピーをする場合は、必ず保護者の承諾のうえ、取り扱いには充分注意してください。
- ・ i-ファイルの内容に関して、関係機関同士で情報交換する際は、保護者に承諾を得たうえで行ってください。